

## みなかみ町立新治小学校 – 探そう、新治の魅力

みなかみユネスコエコパークに位置する新治小学校では、地域の自然や生物多様性を題材とした学びを進めています。今回の5年生の発表では、群馬県と新潟県の県境に位置する「赤谷の森」に生息するイヌワシの保全や、イヌワシの狩り場確保のために間伐された「イヌワシ木材」の利活用について考えた活動が紹介されました。

---

### 地域の魅力を学ぶ: 自然と観光資源の再発見

新治の観光スポットや特産品を調査し、その魅力を伝える活動を行いました。温泉や「たぐみの里」、赤谷湖などの地域資源を通じて、地元の自然が観光や人々の生活に果たす役割を学びました。こうした活動を通じて、生徒たちは地元の自然と文化の価値を再認識しました。

---

### 赤谷の森での学び: 生物多様性と自然保護

赤谷の森では、「赤谷プロジェクト」の協力のもと、生物多様性とその重要性について学びました。子どもたちは、イヌワシやカモシカなどの貴重な動植物が生息していることを知り、さらに赤谷の森のことを深く知りたいという意欲を持ちました。現地では、キノコの種類やタゴガエル、イヌワシなど、特有の動植物について直接的な説明を受けるとともに、人工林を自然林に復元する取り組みについても学びました。この経験を通じて、子どもたちは赤谷の森の豊かな自然を体感し、その生物多様性を守る重要性を理解すると同時に、「赤谷プロジェクト」が行う保全と復元の取り組みの意義を深く考える機会となりました。

---

### イヌワシ木材の活用: 森林資源と地域貢献

「赤谷プロジェクト」では、アンブレラ種であるイヌワシをシンボルに、生物多様性の復元と持続可能な地域づくりを目指した取り組みを進めています。イヌワシが生息するためには、開けた狩り場が必要です。このため人工林で間伐が行われますが、この過程で生産された木材（イヌワシ木材）をどのように活用できるかについて考えました。子どもたちは、半紙や画用紙、机などの具体的なアイデアを挙げながら、この木材が地域社会でどのように役立てられるかについて議論を重ねました。こうした活動を通じて、子どもたちは木材利用を通じて持続可能な社会づくりに貢献する可能性を学び、「赤谷プロジェクト」が地域全体に及ぼす影響についても理解を深めました。

---

### 未来への展望

新治小学校では、これらの学びを通じて得た知識や経験を活かし、地域の自然を守りながらその価値を発信する活動を続けていきます。SDGs 目標 15「陸の豊かさを守ろう」や目標 13「気候変動に具体的な対策を」に関連する取り組みを進めることで、持続可能な地域社会の実現を目指しています。